

報道関係者各位

八重洲二丁目中地区市街地再開発組合
鹿島建設株式会社・住友不動産株式会社・独立行政法人都市再生機構
阪急阪神不動産株式会社・三井不動産株式会社

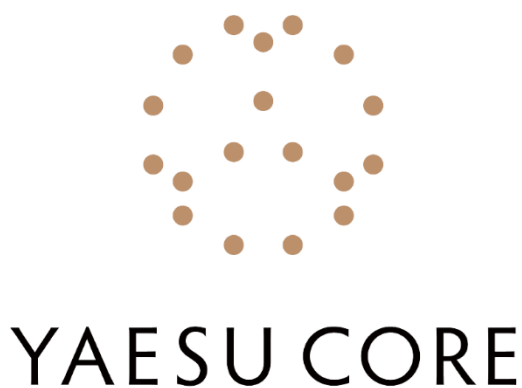
東京駅前 3 地区再開発の集大成 大規模ミクストユース型プロジェクト「八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業」 ヤエス コア 「YAESU CORE」に施設名称決定

八重洲二丁目中地区市街地再開発組合と鹿島建設株式会社、住友不動産株式会社、独立行政法人都市再生機構、阪急阪神不動産株式会社、三井不動産株式会社の参加組合員 5 者で推進中の「八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業」において、施設名称を「YAESU CORE(ヤエスコア)」に決定しましたのでお知らせします。なお、本事業は 2029 年 1 月末に竣工予定です。

本事業は、東京駅前 3 地区再開発^(※)の集大成となる、敷地面積約 2 万㎡、延床面積約 39 万㎡、高さ約 227m の大規模ミクストユース型プロジェクトです。オフィス、商業施設、劇場、サービスアパートメント、インターナショナルスクール、バスターミナル等の多彩な機能を備えています。

「YAESU CORE」という名称には、八重洲エリアが、これまで日本経済・文化の「中心地」であった歴史を基盤とし、本施設に新たに多様な価値が集い交わることで、日本の活力を生み出すエネルギー源として 100 年先にも受け継がれる場所でありたい、という想いが込められています。

本事業を通じ、東京駅前八重洲エリアに発展・成長・新たな賑わいを創出するとともに、東京の国際競争力強化と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



ロゴ(商標登録出願中)



外観イメージパース(外堀通り側)

※「TOFROM YAESU(トフロム ヤエス)」、「東京ミッドタウン八重洲」、「YAESU CORE(ヤエス コア)」の隣接する 3 つの第一種市街地再開発事業を指します。

■施設名称「YAESU CORE」について

本施設が位置する八重洲は、江戸時代より町人の街として栄え、多くの人々を迎えてきました。その後昭和となり、高度経済成長期には企業の全国展開・海外進出を支援するなど、日本経済・文化の中心地として、さまざまな人々が交わりながら発展を遂げてきた街です。

本施設は、こうした八重洲の歴史と特性を踏まえ、約 2 万㎡の広大な敷地に、多岐にわたる用途で構成される大規模ミクストユース型プロジェクトです。『多様な価値が集まり、重なり、人・もの・情報・文化・交通が交わる八重洲の新たな“核”となる。新たな体験や価値が創造され、発信されることで、東京、ひいては日本の活力を生み出すエネルギー源となる場所でありたい。』そうした想いを込めて「YAESU CORE」と名付けました。

また、この地で脈々と受け継がれてきた義理人情や思いやりの心、チャレンジスピリットといった人の“核”といえる価値を、100 年先も大切に承継し、伝統と革新をつなぐ象徴的な場所でありたいという想いを託しました。

■施設ロゴについて

施設名称の決定にあわせ、「YAESU CORE」のロゴも決定しました。



YAESU CORE

ロゴ(商標登録出願中)

施設名称に込めた“CORE＝中心核、生命の根源としての核”をモチーフとし、新たな交流や価値創造が生まれる様子を表現しています。品格と上質さを感じさせながらも、現代的で視認性の高いデザインとすることで、東京八重洲エリアの新たな象徴として長く親しまれる存在となることを意図しています。

ロゴの色は、都市のランドマークとしての象徴性や長く愛される普遍性に加え、価値、品格を感じられる「リッチゴールド」を採用しました。

■「YAESU CORE」が担う都市機能

本施設は、東京駅八重洲口に近接し銀座方面へとつながる都心の重要な玄関口に位置しています。東京駅前という国内外からのアクセスに優れた立地特性を活かし、新たな賑わいを創出するとともに、東京の国際競争力強化に貢献します。

オフィスは 11 階～38 階に配置し、1 フloor 約 6,300 ㎡超の巨大なフロアプレートを備える計画です。東京駅前という立地特性に加え、最新の設備スペックにより、企業活動や国内外との交流を支えるビジネス拠点としての機能を担います。

商業施設は地下 1 階～地上 3 階に約 50 店舗を開業予定で、「東京ミッドタウン八重洲」と地上・地下で接続することで、両施設あわせて 100 店舗を超える商業空間を創出します。さらに、日本の大型書店の先駆けである「八重洲ブックセンター」が新店舗の出店を計画しています。

3 階～6 階には阪急電鉄株式会社が施設計画を行い、株式会社梅田芸術劇場が運営を担う、最新の設備を備えた約 1,300 席の劇場を新設します。ミュージカル、演劇、宝塚歌劇、コンサートなど、世界にも発信できる上質な演目の上演を通じて、東京駅前から世界と日本を結ぶ新たなエンターテインメントの拠点となることを目指します。

40 階～43 階には 1 泊から中長期滞在まで幅広いニーズに対応するサービスアパートメントを計画しています。ビジネス、観光、長期滞在など幅広い滞在需要に応えることで、東京駅前における滞在機能の充実を図ります。

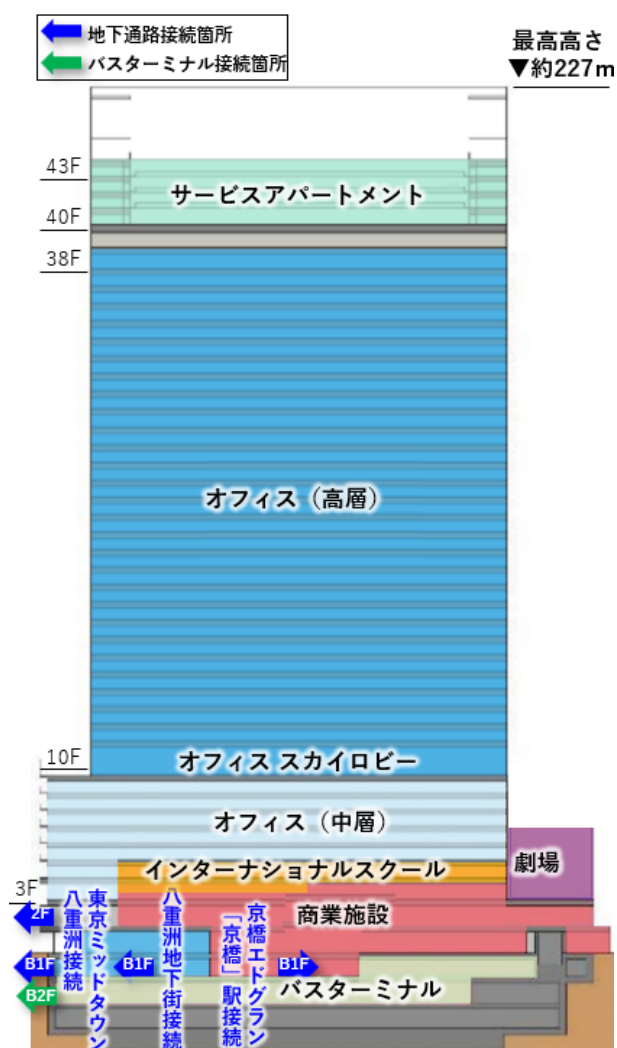
3 階～4 階には体育館・プール・屋外運動場を含む学校施設を整備し、世界トップレベルの教育カリキュラムを提供するインターナショナルスクールを誘致する予定です。

地下に整備される「バスターミナル東京八重洲」は、本事業および「東京ミッドタウン八重洲」、「TOFROM YAESU」の 3 地区の市街地再開発事業にまたがり、一体的に運用される予定です。本事業で 7 バース(バスの乗降場)を整備することで全体開業となり、国内最大級(乗降用 20 バース、約 21,000 m²)の高速バスターミナルが完成します。地上・地下の歩行者ネットワークと連携した広域交通結節機能を形成し、東京駅前八重洲エリアの利便性と回遊性の向上に貢献してまいります。

本施設が整備されることにより、東京駅と銀座線京橋駅をつなぐ歩行者ネットワークが形成され、八重洲エリアの回遊性がさらに高まります。

さらに、「東京ミッドタウン八重洲」とのエネルギー連携や非常用発電機の整備により、平常時の環境負荷低減に加え、災害時の業務継続性や帰宅困難者支援機能の強化も図ります。エネルギーネットワーク、防災対応力をあわせ持つことで、八重洲エリアの安心・安全な街づくりに寄与します。

【用途断面図(東京駅側から)】



【イメージパース】



商業施設 1 階 屋内広場



10 階 オフィスロビー



劇場ホワイエ(外堀通り側)

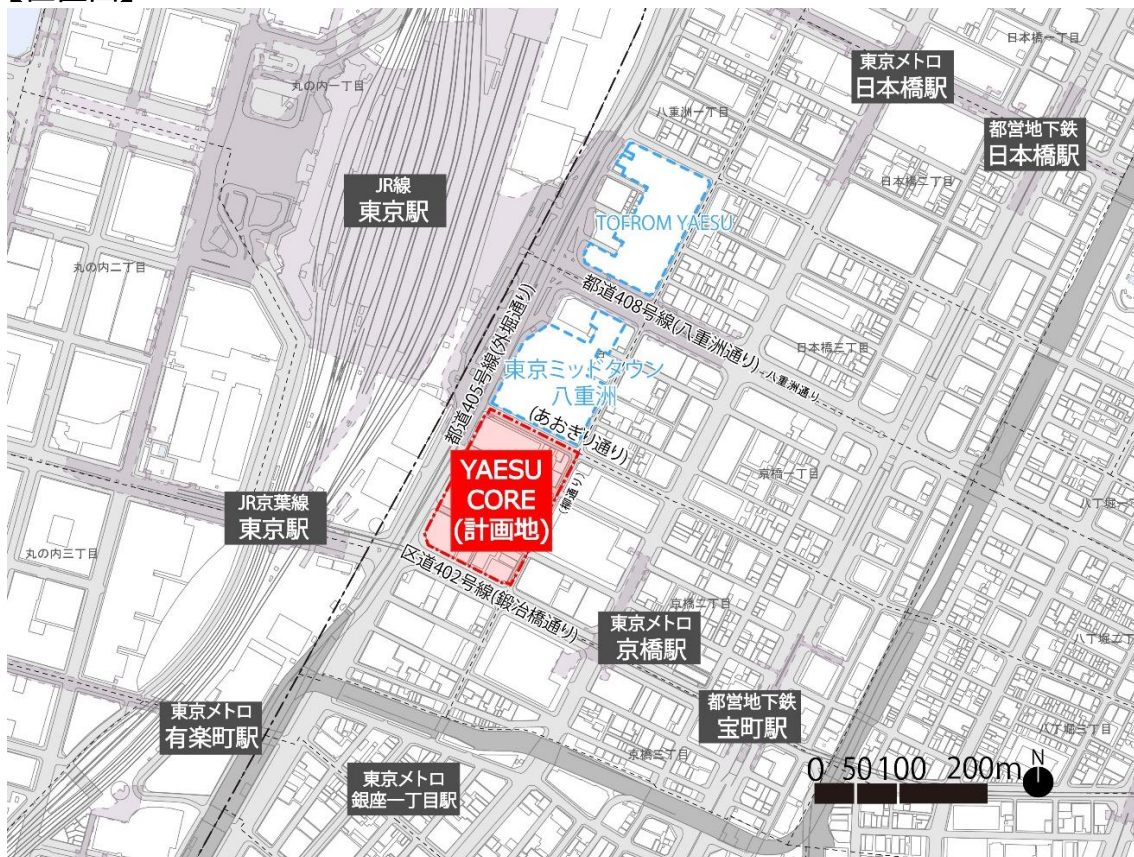


屋外広場(柳通り側)

【事業概要】

事業名	八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業
施設名称	YAESU CORE(ヤエス コア)
施行者	八重洲二丁目中地区市街地再開発組合
所在地	東京都中央区八重洲二丁目 4～7 番
区域面積	約 2.2ha
敷地面積	約 19,560 m ²
延床面積	約 389,290 m ²
主要用途	事務所、店舗、劇場、サービスアパートメント、インターナショナルスクール、バスターミナル、駐車場等
階数・高さ	地上 43 階／地下 3 階、約 227m
設計・施工	・基本設計・実施設計監修・監理 / 株式会社日建設計 都市計画・再開発コンサルタント / 株式会社日建設計 ・実施設計・監理 / 鹿島建設株式会社 ・施工 / 鹿島建設株式会社
交通アクセス	JR「東京」駅八重洲口(徒歩 3 分、地下直結) 東京メトロ銀座線「京橋」駅(徒歩 2 分、地下直結) 東京メトロ銀座線・東西線・都営浅草線「日本橋」駅(徒歩 8 分) 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目」駅(徒歩 5 分)
建物竣工	2029 年 1 月末(予定)

【位置図】



※本リリースに記載の内容は予定であり、今後変更となる可能性があります。

【参考リリース】

・阪急電鉄株式会社、株式会社梅田芸術劇場、阪急阪神不動産株式会社「阪急電鉄と梅田芸術劇場がエンタテインメントの新たな拠点を JR 東京駅前に設けます～ 八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業において劇場を新設～」(2025 年 5 月 19 日発表)

<https://www.hhp.co.jp/news/2025/05/000761.html>

・独立行政法人都市再生機構、京王電鉄バス株式会社「バスターミナル東京八重洲第2期エリア(地下A)が開業～第1期エリアと合わせ、乗降用バースが13バースに拡大～開業日:令和8年(2026年)3月20日(金)」(2026年3月19日発表)

https://www.ur-net.go.jp/news/vrj9880000005n0y-att/ur2026_press_0319_tohto.pdf